

## 福島第二原子力発電所における主排気ダクト等配管接続部の 点検状況について（中間報告）

2015年10月1日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

2015年7月27日に、1号機主排気ダクトと換気系排気筒入口放射線モニタ<sup>\*1</sup>の配管接続部から建屋換気空調系の空気の漏えいが確認された事象を踏まえ（2015年7月28日お知らせ済み）、2015年8月17日から同年9月30日までの予定<sup>\*2</sup>で、主排気ダクトおよび主排気筒に接続している配管の接続部について点検を実施することとしました。

具体的には、以下に該当する箇所を点検対象として抽出し、空気の漏えいの有無を確認するものです。

- ・主排気ダクトおよび主排気筒に接続している放射線モニタの配管接続部
- ・主排気ダクトおよび主排気筒に接続している屋外配管接続部

点検結果につきましては、点検終了後に取りまとめてお知らせします。

また、点検中において配管接続部から建屋換気空調系の空気が漏えいし、その空気から放射性物質が検出された場合には、速やかにお知らせします。

### \* 1 換気系排気筒入口放射線モニタ

主排気ダクトの空気の一部を連続採取し、排気筒入口の放射線量レベルを常時監視している系統。

### \* 2 2015年8月17日から同年9月30日までの予定

点検には足場の設置が必要となるため、天候などの影響により点検期間が変更となる場合があります。

（2015年8月14日お知らせ済み）

本点検については、2015年9月30日までの予定で進めておりましたが、天候の影響や他の作業との工程調整等により、同年11月中旬まで引き続き点検を継続することとなったことから、2015年9月30日までの点検状況等について、以下のとおり、お知らせします。

### 1. 点検状況

2015年8月17日の点検開始以降、同年9月30日までに合計39箇所の点検を実施した結果、3号機主排気筒放射線モニタサンプリング入口配管の主排気筒配管貫通部のシール

部（1箇所）および1号機主排気筒放射線モニタサンプリング入口配管と戻り配管の主排気筒配管貫通部のシール部（2箇所）から建屋換気空調系の空気が漏えいしていることを確認しました（確認日：9月3日、9月16日）。

漏えい箇所については、各建屋換気空調系を停止し、シール材の塗布による応急処置を行い、建屋換気空調系を起動して空気の漏えいがないことを確認しました（添付資料参照）。

なお、これらの漏えい箇所周辺の放射性物質濃度を測定した結果、検出限界値未満であったことから、外部への放射性物質の放出はないものと評価しています。

## 2. 今後の対応

引き続き、残りの点検対象箇所の点検を実施することとします。

今後、2015年10月1日から同年11月中旬までに点検した結果については、点検終了後にお知らせすることとし、点検中において放射性物質が検出された場合には、速やかにお知らせすることとします。

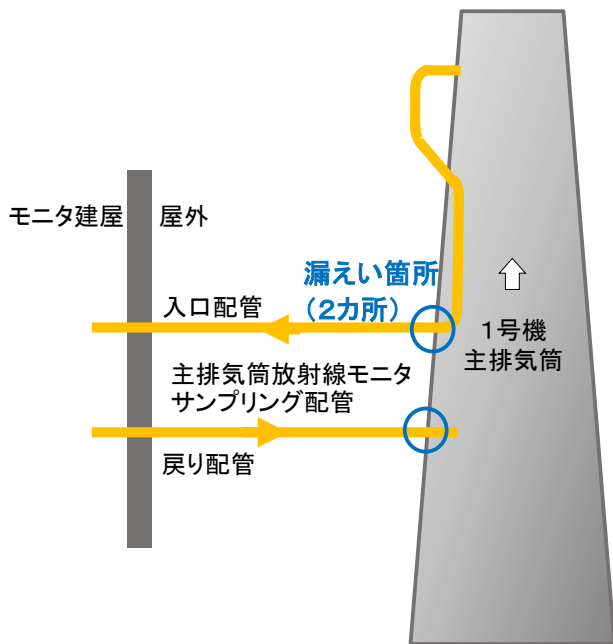
以 上

（お問い合わせ先）

福島第二原子力発電所広報部

電話：0240-25-4111（代表）

## 1号機主排気筒配管貫通部からの空気漏えい箇所

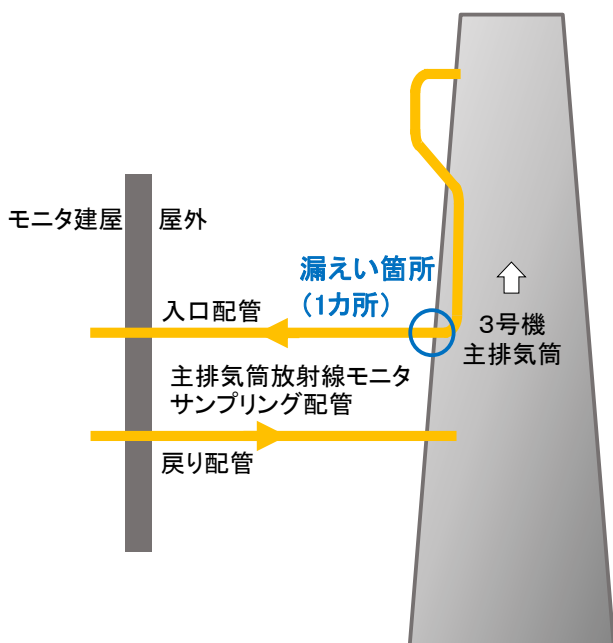


空気漏えいを確認した配管貫通部



応急処置（シール材塗布）の状況

## 3号機主排気筒配管貫通部からの空気漏えい箇所



空気漏えいを確認した配管貫通部



応急処置（シール材塗布）の状況